

子ども俳句だより



平成28年度 6年修学旅行特別号 井口台小学校校長室

6年生は、10月20、21日に山口・福岡方面に1泊2日で修学旅行に行ってきました。友だちと一緒に活動した中で、たくさんの思い出ができました。その時に感じたこと、心に残ったことを俳句に表しました。すてきな俳句がたくさんできましたので紹介します。

【今月の大賞】

「協力し輝き増したクラスの和」

緒方彩夏

修学旅行を通して成長しようと、クラス全員で協力して行動していました。それにより友だちとの絆がさらに強くなり、輝きを増した仲間達になりました。すばらしい修学旅行になりましたね。



【入選】

「秋芳洞黄金（こがね）にかがやき神秘的」

松本菜々

秋芳洞の中には、自然が創った造形物がたくさんありましたね。黄金柱も輝いて神秘的な風景でしたね。初めて発見した人はさぞ驚いたでしょうね。



「ときはやき思い出ではなくたからもの」 平田芽己

修学旅行の2日間はあっという間に過ぎて、友だちとの一つ一つの思い出が、大切な宝物になりましたね。

「ザッバーン今日は波がめざました」 戸田うい

宿泊した旅館の裏は日本海が広がっていましたね。寄せる波ひく波の音が夜も朝も響いていましたね。波の音が印象的だったのでしょう。波の音を俳句によんだ人が多かったです。

「絵付けよりやっぱりしたい地引き網」 沖野天真

この日は強風注意報が出ていて、楽しみしていた地引き網が中止になりました。でも、やっぱり地引き網をみんなで引きたかったですね。

「おみやげを何買おうかとまよってる」 田口乃羽

おみやげコーナーで、家族の誰に何を買おうか考えている姿がたくさん見られました。家族の方は喜んでくださったでしょうね。

「城下町ふんいきだだよ萩の町」 藏本 就

萩には、夏みかんの木がたくさん植えてあり、江戸時代の城下をおもわせる町並みが広がっていましたね。この場所で、明治維新で活躍した人たちが学び生活していたのですね。

